

二中 学校便り



善は急げ

－良い行いは急いでもやろう－

E やまと・みなみまちグループ
東和市長第二中学校
令和8年度 第5号
(令和8年9月4日)
校長 大島 清和

自立した学習者を育てる ～デジタルを活用したこれからの学びを通して～

副校長 津田 正樹

本校では今年度、「デジタルを活用したこれからの学び」をテーマに校内研究を進めています。この研究で目指しているのは、単にデジタル機器を使う授業ではありません。デジタルの力を生かしながら、一人一人の生徒が自分に合った学び方を考え、必要に応じて学ぶ相手や方法を選び、自ら学びを進め、振り返ることのできる「自立した学習者」を育てることです。

保護者の皆様には、授業参観などを通して、以前とは違う授業の様子をご覧いただく機会もあるかと思います。「先生が教えていないけれど、大丈夫なのだろうか」「子供たちに任せすぎているだろうか」と感じられることもあるかもしれません。ここで、大事なことは、「生徒に自己決定させる」とことと「放任」は違うということです。

例えば、これまでの授業では、教員が学習の進め方を細かく決めることが多くありました。これからの授業では、学習の目標（ゴール）を明確にした上で、「一人で考える」「友達と相談する」「資料を調べる」「デジタルを使って確かめる」など、自分に合った方法を選ぶ場面を増やしていきます。学習の課題や進め方、一緒に学ぶ相手を、生徒自身が考えて選択することもあります。

しかし、それは「教員が何もしない」ということではありません。むしろ、これまで以上に高度な役割が求められます。生徒一人一人の学習状況を見取り、どこで困っているのか、どのような支援が必要なのかを考え、必要なタイミングで声を掛けたり、学習方法を提案したりします。一斉指導を減らして生み出した時間を、一人一人の学びを見取り、支援するために使うのです。

また、すべての授業を新しいスタイルで行うわけではありません。これまでのように一斉指導が必要、有効な場面もあります。

本校が大切にしているのは、授業の形を変えることそのものではありません。これからの社会を生きる生徒たちが、「何を学ぶか」、「どう学ぶか」を自分で考え、学び方を工夫し、うまくいかなければ修正しながら成長していく力を身に付けることです。

新しい授業スタイルは、生徒にとっても教員にとっても、すぐに慣れるものではありません。戸惑いや失敗もあると思います。だからこそ、本校では、教員が研究と実践を重ねながら、生徒が挑戦できる授業づくりを進めてまいります。

「デジタルを活用したこれからの学び」について、保護者向けに、東京都教育委員会が公開している動画がございますので、よかったらご覧ください。

<https://www.youtube.com/watch?v=Rt5icI67psY>



学校の様子

南街祭り 伝統芸能フェスタ

7月25日に第二小学校で開催された「南街まつり」の伝統芸能フェスタに、本校の吹奏楽部と軽音楽部が出演しました。吹奏楽部は、多彩な楽器による重厚感と迫力のある演奏を披露し、会場を魅了しました。軽音楽部は、自分たちの演奏を披露するだけでなく、観客も巻き込みながら会場を大いに盛り上げました。



夏季学習教室

7月21日から24日までと8月25日から28日までの期間、夏季学習教室を実施しました。静かな環境で集中して自習に取り組みたい生徒向けの教室と、生徒同士で教え合ったり教員からアドバイスを受けたりしながら学習を進めたい生徒向けの教室を設けました。参加した生徒は、自分に合った学習方法を選び、意欲的に学習に取り組んでいました。



60周年記念 メッセージ紹介

昨年度、60周年記念のはがきを配布いたしました。これまでにそのはがきを通して寄せられたメッセージをご紹介します。

『創立60周年おめでとうございます。合唱コンクールで生徒の皆さんがクラスで息を合わせる瞬間は、キラキラで尊かったです。』

『夢は春ひらく』

『アルバムが届きました。卒業してまだ数カ月ですが、とても懐かしく思いました。体育祭と合唱コンクールを高校で終えました。ムカデ、合唱、やはり二中の頃を思い出し、少々涙が出てしまいました。そしてどちら共に優勝できました。受験を迎える三年生の皆さん、勉強＋部活＋行事は大変ですが、全力でがんばってください。』